

令和元年度第2回宮崎東諸県地域医療構想調整会議 議事要旨

1 日時

令和2年1月21日（火） 午後7時から午後8時30分まで

2 場所

宮崎県総合保健センター 5階 大研修室

3 出席者

(1) 代表者 17名

宮崎市郡医師会 会長 川名 隆司（宮崎市郡医師会病院 院長 兼務）

副会長 山村 善教

会員 鶴田 和仁

会員 関屋 亮

宮崎市郡歯科医師会 会長 黒木 晃一

宮崎市郡薬剤師会 会長 宮本 圭一郎

全日本病院協会宮崎県支部 理事 辰元 信

宮崎県看護協会 理事 新原 幸子

宮崎大学医学部附属病院 院長 鮫島 浩

国立病院機構宮崎東病院 院長 塩屋 敬一

県立宮崎病院 院長 菊池 郁夫

宮崎市 健康管理部次長兼宮崎市保健所長 西田 敏秀

国富町 保健介護課 課長 坂本 浩二

綾町 福祉保健課 課長 森園 由美子

宮崎市国保年金課 課長 長友 道明

宮崎県保険者協議会 企画総務部長 蓑部 敏雄

宮崎県中央保健所 所長 日高 良雄

(2) 事務局等

宮崎県医療薬務課 中央保健所次長、主幹、総務企画課長、総務企画担当

4 議事

(1) 宮崎東諸県地域医療構想調整会議運営要綱の一部改正について

〔宮崎県中央保健所〕

(2) 宮崎県医師確保計画・外来医療計画について〔宮崎県医療薬務課〕

(3) 地域において不足する外来医療機能について〔宮崎県医療薬務課〕

(4) その他

[議事概要]

- (1) 宮崎東諸県地域医療構想調整会議運営要綱の一部改正について事務局から説明があった。

【主な意見等】

なし

【結果】

- ・一部改正について、調整会議の承認が得られた。

- (2) 宮崎県医師確保計画・外来医療計画について

- (3) 地域において不足する外来医療機能について
宮崎県医療薬務課から説明があった。

【主な意見等】

- ・医師も高齢化しているため、実働していない医師数が大事な数値となる。
- ・平均値として県央部は人が多いため、医師派遣を行ってほしいということも理解はできるが、簡単には対応できない状況である。
- ・現在の医療は総合的な診療がほとんどである。一つの診療科の数値だけではなく、その中の一部分でも数値が下がっていると、総合的な診療ができなくなるということを考慮してほしい。
- ・外科についても小児科、産婦人科に加えて医師確保に取り組んでほしい。
- ・若い時から医師を志すようなものを植え付けるのは非常に重要なことだと思う。

【結果】

- ・地域において不足する外来医療機能については、調整会議の合意が得られた。

- (4) その他

県立宮崎病院から「県への『地域医療支援病院』承認申請」について説明があった。

以上